



平成 21 年 10 月 20 日

各 位

会 社 名 日本高周波鋼業株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 池田 辰雄
 コード番号 5476
 問 合 せ 先 常務取締役管理部長 田中 慶壽
 (TEL. 03-5687-6025)
 当社の親会社 株式会社神戸製鋼所
 代 表 者 名 取締役社長 佐藤 廣士
 コード番号 5406

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 21 年 4 月 28 日に公表した業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(1) 連結業績予想

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	11,500	△2,100	△2,150	△2,200	△15.00
今回修正予想 (B)	12,950	△1,410	△1,540	△1,600	△10.91
増 減 額 (B-A)	1,450	690	610	600	—
増 減 率 (%)	12.6%	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	27,802	355	313	153	1.04

(2) 個別業績予想

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	9,000	△1,450	△1,500	△1,550	△10.57
今回修正予想 (B)	9,670	△870	△910	△960	△6.54
増 減 額 (B-A)	670	580	590	590	—
増 減 率 (%)	7.4%	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	20,645	△169	△60	△59	△0.40

(3) 修正の理由

需要環境全般は依然厳しい状況にありますが、前回予想時より電子材料向けなどで一部需要回復の動きがあり、売上及び生産数量が増加する見込みであります。また固定費の削減効果や原材料価格の変動に伴う棚卸評価損の縮小などもあり、当第2四半期累計期間の業績が平成21年4月28日に公表した数値を上回る見通しとなりましたので、前記の通り修正いたします。

2. 平成22年3月期通期業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

需要動向全般は依然不透明な状況にあり、下期に入って回復に向かうと思われるものの、その動きは前回予想より緩やかになると想定されることなどから、平成22年3月期通期業績予想につきましては、連結、個別とも前回予想を据え置いております。

（ご参考）

(1) 連結業績予想

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想	28,500	△2,050	△2,150	△2,400	△16.36
前期実績 （平成21年3月期）	48,747	△134	△224	△1,560	△10.64

(2) 個別業績予想

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想	22,000	△1,400	△1,500	△1,750	△11.93
前期実績 （平成21年3月期）	37,223	△237	△149	△752	△5.13

3. 平成22年3月期の配当予想の修正

当社は業績水準や配当性向とともに、持続的成長のための投資資金としての内部留保も考慮し、安定的・継続的に剰余金の配当を行なうことを基本方針としております。

平成22年3月期の中間配当につきましては、前記の厳しい業績状況を踏まえまして、誠に遺憾ではございますが見送る方針とさせていただきます。なお、期末配当につきましては、開示が可能となった時点で速やかに開示することとし、具体的には第3四半期決算発表時に開示する見込みです。

基準日	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想 （平成21年4月28日）	（未定）	（未定）	（未定）
今回修正予想	0.0	（未定）	（未定）
（ご参考）前期実績 （平成21年3月期）	0.0	1.5	1.5

※前記予想につきましては、当社が現状で判断しうる一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がありますことをご理解ください。

以上